

オンライン JPPaC患者中心の医療を学ぶ会

パーキンソン病の方のための コミュニティから考えるビヨンド・ザ・ピル

演者：小川 順也さん

理学療法士 (株) Smile Space 代表取締役

2022年4月19日(火)
午後7時～9時 オンライン

講演概要

2013年から始まったパーキンソン病の方のための運動継続コミュニティであるPD Cafeでは、患者当事者の生の声を元にあらゆるサービスを生み出している。PD Cafeの活動の中には当事者が主体となり企画されているものも存在する。最近では、当事者の生の声を製薬会社や関連メーカーに届けることでパーキンソン病の方々にとってよりよい環境づくりを目指している。

今回は、患者当事者とのように企画を進めているか、そして実際にワークショップを通してリアルな生の声からいかに企画を作るかを体験してもらう。

- ① パーキンソン病とは
- ② パーキンソン病の治療について(薬、手術、運動)
- ③ PD Cafeの取り組みについて
- ④ 患者当事者をゲストに呼びワークショップ

参加費：無料 定員 100名

申込先：info@jppac.or.jp

お名前、所属、お立場を記入ください



NPO法人
患者中心の医療を共に考え
共に実践する協議会

協力

一般社団法人 ピーパック
医薬品産業イノベーション研究会
グリーンループ



小川順也さんプロフィール
理学療法士、LSVT BIG認定資格者。
2011年より国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターにて4年間、神経難病患者のリハビリテーションに従事する。パーキンソン病の方が退院後、運動の機会を失うことで病状が悪化してしまう現状を大きな課題と捉え、2013年より保険外の取り組みであるパーキンソン病の方のための運動教室「PD Café」を運営し、運動療法の必要性和効果を広く伝えるとともにコミュニティ作りの活動に力を注ぐ。
2021年「パーキンソン病と診断されたら最初に読む運動の本」を出版